参考:実態調査調査票

◆太陽光型/併用型植物工場用

施設園芸・植物工場の実態調査 調査票 太陽光型・併用型

201	以因 <i>么 他 10 — 19</i> **	人心叫且	明且小 八版	7亿至 1771至	「智利を開」				
■1.貴組織の概			ID:	(Office Use)					
ご記入・ご選択をお	願い致します ※事前記載事項に 	間違いがございま	したら赤字でご訂正くだる	ţ'\	C1#2-4.				
実施事業者名	ウェブサイト URL:								
組織形態	□ 農地所有適格法人(農業生産法人) □ 農業者(個人) □ 株式会社(農地所有適格法人を除く) □ その他								
施設名	□ 実施事業者名に同じ 栽培開始:西暦 年								
施設住所	年間売上:約 百万円								
		正規	非正規・パート	期間雇用:	人				
雇用者数	通年全体	,	٨	障がい者雇用:	人				
	うち生産・出荷に関わる人員		۸	外国人実習生:	人				
回答者ご連絡先	ご担当者名:		•	ご所属:□ 事業者 □ が	色設				
確認の連絡をさせて 頂く場合がございます	電話番号:		メールアドレス:						
1.操業状況 当て	はまるものに ፟፟ をつけてください								
□ 操業中 □ 拮									
	<u> </u>	燥業停止」を選択	された場合は、こちらで終	そ了です。ご協力ありがとう	ございました				
2.施設設置の主	たる目的 主目的に当てはまるもの	のを1つ、そのほかの	の目的として当てはまるも	の全てに「🗹をつけてくださ	さい				
主目的(1つ) □	農産物生産·販売 □ 原材料調	達(加工販売)	□ 設備製造·販売 □ 研	ቸ究 □ 福祉 □ その他()				
その他目的 □ 農産物生産·販売 □ 原材料調達(加工販売) □ 設備製造·販売 □ 研究 □ 福祉 □ その他()									
3.栽培用施設 それぞれご記入・ご選択ください									
①栽培用施設総面積 ②軒高 ③年間総生産量 ④CO:施用有無									
m ² m hン/年 □ なし □ 液化 CO₂ □ 白灯油 □ その他()									
4.環境制御・栽培システム関連 それぞれご選択・ご記入ください									
熱源□ A 重油 □ 灯油 □ ガス・LPG □ 農業用ヒートポンプ □ 家庭用ヒートポンプ □ 排熱等利用□ バイオマス(ペレット・チップ他) □ その他 (
保温·遮光カーテン □ 一層 □ 二層 □ 三層 □ 二層									
冷房·冷却·除湿	ヒートポンプ(□ 冷房 □ 除湿)	□ 細霧冷却 □	パッド&ファン □ そのf	也()□なし				
栽培方式	□ 土耕 養液栽培(□ 点滴	□ 底面 □ NFT	□ DFT □ 噴霧) □ ³	その他 ()				
栽培培地 ロックウール ココピートなど ロウレタン 日 その他()									
■ Ⅱ.栽培につい	いて								
1.栽培形態 当て	はまるもの全てに 🗹 をつけ、使用	開始年をご記入ぐ	ください						
□ 太陽光のみ利用 □ 栽培のための補光あり □ 育苗のみ人工光を利用 □ その他(栽培以外の用途)									
→「太陽光のみ利	用」以外を選択した方は、光源を選	選択下さい(複数で	可)						
□ 高圧ナトリウム・並	住光灯等(西暦 年) □ 白	色 LED* (` ` ` ` ` ` ` ` ` ` ` ` ` ` ` ` ` ` ` `	年))				
2.原水 当てはまる	らもの全てに ▽ をつけてください	▶ ** 「青色、赤色 LE	E <u>D</u> 等は <u>その他</u> の欄にご回答	下さい					
	水は □ 井水 □ 農業用水 [□ 上水 □ その	他(例:雨水等)				
3.施設全体およ7	び各品目の栽培状況について		ご選択ください						
		音実面積**2	年間生産量	栽培期間					

l) 主要品目

2) その他品目

3) その他品目

m²

mî

m²

□通年 □一時期(月~

□通年 □一時期(

□通年 □一時期(

トン/年

トン/年

トン/年

月)

月)

月)

月~

^{※2} 栽培実面積は、その作物を栽培する場所の合計面積をご回答下さい

4.廃棄はあり	ましたか	□ ない □ ある	(□ 可販生産物	□ 生育不良等に	よる/	廃棄)➡ 約	%*	³ もしくは 約	トン	
理由 **3 全体の生産量に対する比率をご回答下さい										
			`.ta	14*4.						
			れご選択・ご記入							
			用検討中 □ 未足							
7 Km (1X a)					uh #h					
【エネルギー源】□ 太陽光 □ 風力 □ バイオマス □ 地熱 □ その他()										
6.労働時間 それぞれご記入ください										
①施設全体(職員全員)の年間積算労働時間 (経営·営業等 <u>含む</u>) 年間 時間										
②主要品目の栽培・出荷に係る年間積算労働時間 (経営・営業等含まない) 年間 時間										
③主要品目の栽培・出荷に係る作業比率 合計 100%となるようご記入下さい										
育苗	定植	施肥	栽培管理**4	収穫	出布	苛(調製、選果、袋	語め)	その他	合計	
%			% %	%		%		%	100%	
_		・葉かき・清掃・残	渣処理などを含みま	す						
Ⅲ.経営につ										
1.直近の営業	き利益の状		,の1つに ▽ をつに	けてください 						
□ 黒字	□ 収支均	衡 □ 赤字								
2. 事業が安定	と的に黒字	化または収支	均衡となるまでに	要した年数 当て	はま	るもの1つに🗹	をつけてく	ください		
施設稼働時か	ら 🗆 1~	3 年 🔲 4~6 年	F □ 7~9 年	□ 10~15 年	□ I	5年以上 🗆 🤋	安定してい	いない		
3.活用してい	る行政等の	の補助金 当て	はまるもの全てに┏	【 をつけ、事業名・	内容	などをご記入くた	ぎさい			
□ 設備投資[関連 🗆 エ	ネルギー関連 🗆	その他(事業名ま	たは内容:)	□ なし	
4.生産·経営	上の課題	と対策・工夫 当	イスはまるもの全て	に 🗹をつけ、そのタ	対策	・エ夫をご記入く	ださい			
<u></u> 4∑	量の向上・	安定 🗆 品質の	向上·安定 □:	ロスト削減 🗆 病虫	害	対策 🗆 新品種	導入 🗆	AI・スマート化へ	への対応	
課題 🗆 労	務管理 🗆	人手不足 🗆 (CO₂排出削減 □	販路開拓·営業[□ 沒	乗外展開 □ 資本	才・肥料等	の確保 🗆 残	渣処理	
		引発 □ その他()	
≫上記課題およ	びその対策	·工夫(自由記述)	例:収量安定のたる	めの二酸化炭素の施	用、非	栽培技術向上のた	めの作業に	工程の標準化等		
5. コスト構造										
	00000000		T	<u>%</u> となるようご記。 			T -			
0	人件費	②減価償却費	③水道光熱費	④種苗·資材費	(⑤物流·輸送費	⑥ その	他() 合計	
費用比率	%	%	%	%		%		%	100	
② 各費用の	前年増減し	・ 七率 各費用の前		ざさい			-			
		②減価償却費	③水道光熱費	④種苗·資材費	(5)	物流・輸送費	67	の他(⑦全体	
前年比	%	%	%	%		%		%	%	
例:前年度と比較	とし、20%増	えた場合: 20%と	記入、前年度と比較	し 20%減った場合:	80%	6と記入ください				
6. 生産コスト	増加に対す	する対策 当ては	まるもの全てに	をつけてください						
□ 仕入先/販	売先などの)変更 □ 販売先	こへの価格転嫁 🗆	事業多角化 □	生產	産規模拡大 □ ≤	上産規模:	縮小 🗆 事業網	宿小	
□ 行政支援》	舌用 🗆 新	品種導入 🗆 生	産性向上 🗆 ロオ	ヾット化・省カ化 □	出	荷・輸送方法の変	変更 🗆 🤄	その他()	
具体例(自由記述	ß):									
7.主な出荷先	と販売額	の比率 当ては	まるもの全てに 🗹	をつけ件数、比率を	をご言	記入ください				
	□市	場出荷								
主な出荷先		場外出荷 (取引	先件数:	件)						
販売額の比率	販売額の比率 市場出荷 % 契約栽培 % 直販·EC サイトなど % その他 % 計 100%									

IV.スマート化について

I.スマート化のシステム・ツール導入状況 使用中および導入を検討中のもの全てに ▼をつけ、具体名をご記入ください ※1つのシステム・ツールに複数の機能がある場合、具体的な当該サービス・装置名をそれぞれご記入ください

	システム・アプリの目的	使用中	検討中	具体的なサービス・装置またはメーカー名					
	①販売管理(実績管理ツール等)								
経営	②資材管理								
	③その他営農・販売支援(EC・フリマアプリ等)								
-15.1-4	④栽培·作業記録·管理								
栽培	⑤防除記錄·管理								
環境制御	⑥環境制御								
自動運転・	⑦移植·定植自動化装置								
作業軽減	⑧収穫·搬送装置								
(ロボット等)	⑨選果·包装装置								
	⑩画像センシング(生育判定等)								
センシン	⑪環境モニタリング(温湿度計測・記録システム等)								
グ・モニ タリング	②作業モニタリング(IC タグの活用等)								
	③センシング・モニタリングその他								
その他	個その他※例:AI を活用したその他システム等								
2.スマート	化のシステム・ツール導入後の効果 当てはまるも	の全てに	ヹ をつけて	てください					
□ 収量向	上 🛘 省力化 🗖 品質向上·均一化 🗖 収益性向	上 🗆 労務	8管理の適	正化 □ その他()					
□ 使用方	□ 使用方法が難しい □ コスト □ 効果がわかりにくい □ 他システムとの連動性 □ その他()								
V.新型コロナウイルス感染症の影響 当てはまるもの全てに✓をつけ、そのほかご自由にご記入ください									
	※コロナ禍およびウィズコロナによる日々の栽培・経営への影響、その対策や工夫、スマート化が役立った場面等ありましたら、ご自由にお答えください								
■ VI.施設	は園芸に係る国の支援措置に対する要望 当	行てはまるも	の全てに[▼をつけ、そのほかご自由にご記入ください					
□ エネルギー高騰対策 □ CO₂排出削減対策(例:施設・システム導入費の支援、技術開発の先導など) □ 異常気象対策 □ 技術開発のための研究支援 □ 人材確保支援 □ 研修・教育機会の提供・充実化 □ AI・スマート化への支援(例:無料アプリの提供や教育人材の派遣など) □ 海外展開時のフォロー □ 農地としての取扱い等 □ その他(
≫その他国の	の支援措置に対して要望など(自由記述)例:SDGs対応	事業者への	の優遇、国主	導での技術・システム開発等					
自由記入	欄 設問・調査票、その他ご意見等ございましたらご	自由にお言	書きください						

施設園芸・植物工場の実態調査 調査票 人工光型



1. 貴組織の概要について ID: (Office Use) ID: (Office Us												
ご記入・ご選択をお願い致します ※事前記載事項に間違いがございましたら赤字でご訂正ください 実施事業者名 ウェブサイト URL:												
組織形態	□ 農地所有適格法人(農業生産法人) □ 農業者(個人) □ 株式会社(農地所有適格法人を除く) □ その他											
施設名	□ 実施事業者名に同じ 栽培開始:西暦 年											
施設住所		133	年間売上:約	百万円								
76 BX IZ //			正規		非正規・パート	十四元工 : **3	L % 13					
雇用者数	通年全体		=-7.2	7	人	障がい者雇用:	人					
	うち生産・出荷に	関わる人員		٨		外国人実習生:						
回答者ご連絡先	ご担当者名:				ご所属:□ 事業者 □ 施設							
確認の連絡をさせて 頂く場合がございます	電話番号:			メール								
I.操業状況 ≝	てはまるものに🗹をつ	けてください										
□ 操業中 □	操業停止 理由をご記ん	入ください										
		<u>*</u>	「操業停止」とに	回答された	方は、こちらで終っ	了です。ご協力あり	がとうございました					
2.施設設置の目	的 主目的に当てはま	るものを1つ、	そのほかの目的	りがある場	合には、当てはまる	るもの全てに┏をっ	つけてください					
主目的(1つ)	□農産物生産·販売□	原材料調道	(加工販売)	□ 設備製	设造·販売 □ 研究	元 □ 福祉 □ その)他()					
その他目的	〕農産物生産・販売 □	原材料調道	(加工販売)	□ 設備製	製造·販売 □ 研究	℃ □ 福祉 □ その)他()					
3.栽培用施設	それぞれご記入ください											
①建物延床面積	責 ②衛生管理エリア	アの床面積	③栽培トレイの	の総面積*	《天井高※2	⑤段数/栽培板	朋 ⑥CO₂施用					
	n ²	m²		m			□ 有 □ 無					
** 多段式で複数段栽培している場合は各段の面積の合計をお答え下さい **2 衛生管理エリアの天井高をお答えください												
■I.栽培について I.光源 当てはまるもの全てに▼をつけ、使用開始年をご記入ください												
					Z. D. (h. /	/= #	Æ.\\					
□ 蛍光灯(西暦 年) □ 白色 LEO**3(西暦 年) □ その他((西暦 年)) □ *********************************												
2.電力 それぞれ	,			7 IE O7 IM IC	→ ** ³ 青色、赤色 LED などは <u>その他</u> の欄にご回答下さい 2.電力 それぞれご選択・ご記入ください(複数選択可)							
①現在の使用電	カ: □ 商用電カ □	太陽光発電	② でんじんに という									
②今後、再生可	②今後、再生可能エネルギーを □ 使用予定 → (□ 太陽光 □ 風力 □ バイオマス □ 地熱 □ その他) □ 使用しない □ 未定											
→再生可能エネルギーを使用中もしくは使用予定の場合、蓄電用のパッテリーを □ 使用中 □ 設置検討中 □ 使用しない												
➡ 再生可能			太陽光 🗆 風2	カ 🛭 バイ	オマス □ 地熱 [□ その他)□ 使月	用しない □ 未定					
		しくは使用予算	太陽光 □ 風 2	カ ロ バイ 用のバッラ	オマス □ 地熱 [□ その他)□ 使月	用しない □ 未定					
	エネルギーを使用中もし	しくは使用予算: てに ▽ をつり	太陽光 □ 風 2	カ □ バイ 用のバッラ をご記入。	オマス □ 地熱 [テリーを □ 使用中 ください	□ その他)□ 使月	用しない □ 未定□ 使用しない					
3. 養液栽培シス □ DFT (西暦	エネルギーを使用中も0	しくは使用予算 さてに ▽ をつり T (西暦	太陽光 □ 風 z この場合、蓄電 t、使用開始年 年)	カ □ バイ 用のバッラ をご記入。 □ その他	「オマス □ 地熱 [Fリーを □ 使用中 ください .(□ その他) <mark>□</mark> 使月 □ 設置検討中 (西層	用しない □ 未定□ 使用しない					
3. 養液栽培シス □ DFT (西暦 4. 養液用の原力	エネルギーを使用中もし テム 当てはまるもの全 年) □ NF	しくは使用予覧 てに ∑ をつい T (西暦 の結露水の和	太陽光 □ 風 / この場合、蓄電 ナ、使用開始年 年) 可用について	カ □ バイ 用のバッラ をご記入。 □ その他	「オマス □ 地熱 [Fリーを □ 使用中 ください .(□ その他) <mark>□</mark> 使月 □ 設置検討中 (西層	用しない □ 未定□ 使用しない					
3. 養液栽培シス □ DFT (西暦 4. 養液用の原丸 ①養液用の原水	エネルギーを使用中もし テム 当てはまるもの全 年) □ NF (および冷房・除湿時)	しくは使用予覧 でてに √ をつけ FT (西暦 の結 露水の □ 農業用水	太陽光 □ 風 / E の場合、蓄電 t、使用開始年 年) 可用について □ その他	か □ バイ 用のバッラ をご記入。 □ その他 それぞれ。	オマス □ 地熱 『 Fリーを □ 使用中 ください (「選択・ご記入くた	□ その他) □ 使月 □ 設置検討中 (西層	用しない □ 未定□ 使用しない					
3. 養液栽培シス □ DFT (西暦 4. 養液用の原丸 ①養液用の原水 ②養液の更新 □	エネルギーを使用中もし テム 当てはまるもの全 年) NF (および冷房・除湿時(は、) 上水 井水	しくは使用予算 でてに ∑ をつけ で (西暦 の 結露水の ま □ 農業用水	太陽光 □ 風 / この場合、蓄電 t、使用開始年 年) 可用について □ その他 回/年、養液タ	カ □ バイ 用のバッラ をご記入。 □ その他 それぞれ:	「オマス □ 地熱 □ デリーを □ 使用中 ください。 ((ご選択・ご記入くた %/回)	□ その他) □ 使月 □ 設置検討中 (西層	用しない □ 未定□ 使用しない					
3. 養液栽培シス □ DFT (西暦 4. 養液用の原丸 ① 養液用の原水 ②養液の更新 □ サ理由: □	エネルギーを使用中もし テム 当てはまるもの全 年) □ NF 《および冷房・除湿時の は、□ 上水 □ 井水 □ 更新あり◆(頻度は #	しくは使用予算 でてに ▽ をつい FT (西暦 の結 露水の 和 □ 農業用水 肉	太陽光 □ 風/ Eの場合、蓄電 t、使用開始年 年) 可用について □ その他 回/年、養液タ □ 養液組成改	カ □ バイ 用のバッラ をご記入。 □ その他 それぞれ: ?ンクの約 善 □ そ6	「オマス □ 地熱 □ デリーを □ 使用中 ください。 ((ご選択・ご記入くた %/回)	□ その他) □ 使月 □ 設置検討中 (西層	用しない □ 未定□ 使用しない					
3. 養液栽培シス □ DFT (西暦 4. 養液用の原丸 ①養液用の原水 ②養液の更新 ■ 理由: □ ③結露水を養液:	エネルギーを使用中も0 テム 当てはまるもの全年) □ NF 《および冷房・除湿時の は、□ 上水 □ 井水 □ 更新あり→ (頻度は 編 予防 (定期的) □ 生 1	しくは使用予算 でで「Mをついます」 で「、	太陽光 □ 風/ Eの場合、蓄電 t、使用開始年 年) 可用について □ その他 回/年、養液タ は、 » ま	カ □ バイ 用のバッラ をご記入・ □ その他 それぞれ: ワンクの約 善 □ その	「オマス □ 地熱 □ デリーを □ 使用中 ください。 ((ご選択・ご記入くた %/回)	□ その他) □ 使月 □ 設置検討中 (西層	用しない □ 未定□ 使用しない					
3. 養液栽培シス □ DFT (西暦 4. 養液用の原水 ①養液用の原水 ②養液の更新 □ ■ 理由: □ ③結露水を養液: ※設備がある場 5. 施設全体およ	エネルギーを使用中も0 テム 当てはまるもの全年) □ NF (および冷房・除湿時のは、□ 上水 □ 井水 □ 東新あり→ (頻度は、 予防 (定期的) □ 生 1 アンクに戻す設備が □ 1 は合、結露水を利用 □ 1 で各品目の栽培状が	しくは使用予算 でてに *** をつり FT (西暦 の結露水の の 農業用水 内 育不良改善 □ ある □ し している □ し	太陽光 □ 風 / E の場合、蓄電	カ □ バイ 用のバッラ をご記入。 □ その他 それぞれ。 ?ンクの約 里由 里由	オマス □ 地熱 □ Fリーを □ 使用中 ください ((ご選択・ご記入くた %/回) の他	□ その他) □ 使月 □ 設置検討中 (西層	用しない □ 未定□ 使用しない					
3. 養液栽培シス □ DFT (西暦 4. 養液用の原水 ①養液用の原水 ②養液の更新 □ ■ 理由: □ ③結露水を養液: ※設備がある場 5. 施設全体およ	エネルギーを使用中も0 (テム 当ではまるもの全年) □ NF (および冷房・除湿時の は、□ 上水 □ 井水 □ 乗新あり⇒ (頻度は 編 予防(定期的) □ 生 1 アンクに戻す設備が □ 1 1合、結露水を利用 □ 1 で各品目の栽培状が 量:	しくは使用予算 でて(Mをつける) でで(西暦 の結露水の利 の結露水の利 の 農業用水 内 育不良改善 している □ けん している □ しん について そ	太陽光 □風/ この場合、蓄電 は、使用開始年 年) 可用について □ その他 回/年、養液組成改 はい ※ 到 でいない ※ 到 でれご記入 (施設全体の生	カ □ バイ 用のバッラ をご記入。 □ その他 それぞれ: ?ンクの約 単 □ セ 里由 ・ご選量をト	(オマス □ 地熱 □ボラリーを □ 使用中ください。(()ご選択・ご記入くた。%/回)の他ださいン換算でご記入くた。	□ その他) □ 使月 □ 設置検討中 (西層 ごさい □ 更新なし	用しない □ 未定 □ 使用しない F 年))					
3. 養液栽培シス □ DFT (西暦 4. 養液用の原水 ①養液用の原水 ②養液の更新 □ 理由: □ ③結露水を養液: ※設備がある場 5. 施設全体およ ① 年間総生産	エネルギーを使用中も0 テム 当てはまるもの全年) □ NF (および冷房・除湿時のは、□ 上水 □ 井水 □ 東新あり→ (頻度は、 予防 (定期的) □ 生 1 アンクに戻す設備が □ 1 は合、結露水を利用 □ 1 で各品目の栽培状が	しくは使用予算 でて(Mをつける) でで(西暦 の結露水の利 の結露水の利 の 農業用水 内 育不良改善 している □ けん している □ しん について そ	太陽光 □風/ この場合、蓄電 大、使用開始年 中) 可用について □ その他 回/年、 養液 改改。 ない。 ※ 到 こていない。 ※ 到 く(施設全体の生 に面積**5	カ □ バイ 用のバッラ をご記入。 □ その他 それぞれ: ?ンクの約 単 □ セ 里由 ・ご選量をト	オマス □ 地熱 □ Fリーを □ 使用中 ください ((ご選択・ご記入くた	□ その他) □ 使月 □ 設置検討中 (西層 さい □ 更新なし ださい) 栽培比率	用しない □ 未定 □ 使用しない 年))					
3. 養液栽培シス □ DFT (西暦 4. 養液用の原水 ①養液用の原水 ②養液の更新 □ → 理由: □ ③結露水を養液: ※設備がある場	エネルギーを使用中も0 (テム 当ではまるもの全年) □ NF (および冷房・除湿時の は、□ 上水 □ 井水 □ 乗新あり⇒ (頻度は 編 予防(定期的) □ 生 1 アンクに戻す設備が □ 1 1合、結露水を利用 □ 1 で各品目の栽培状が 量:	しくは使用予算 でて(Mをつける) でで(西暦 の結露水の利 の結露水の利 の 農業用水 内 育不良改善 している □ けん している □ しん について そ	太陽光 □風/ この場合、蓄電 は、使用開始年 年) 可用について □ その他 回/年、養液組成改 はい ※ 到 でいない ※ 到 でれご記入 (施設全体の生	カ □ バイ 用のバッラ をご記入。 □ その他 それぞれ: ?ンクの約 単 □ セ 里由 ・ご選量をト	(オマス □ 地熱 □ボラリーを □ 使用中ください。(()ご選択・ご記入くた。%/回)の他ださいン換算でご記入くた。	□ その他) □ 使月 □ 設置検討中 (西層 ごさい □ 更新なし	用しない □ 未定 □ 使用しない F 年))					

^{※4}レタス類を栽培している場合には、可能な範囲で、たとえば「フリルレタス」「グリーンリーフ」「ロメイン」など種類をご回答下さい

^{※5} 栽培実面積は、その作物を栽培する場所の合計面積をご回答下さい(多段式で複数段栽培している場合は各段の面積の合計をお答え下さい)

6. 廃棄はあり	ましたか 🗆 な	い 🗆 ある(□ 可販生	産物 🗆	生育不	良等による廃	棄) →	約	% ^{*6} もしくは 糸	5	トン
理由 ^{※6} 全体の生産量		- # - + · ·									
7.労働時間 それぞれご記入ください											
② 主要品目の栽培・出荷に係る年間積算労働時間 ※経営・営業等含まない 年間 時間											
③ 主要品目の栽培・出荷に係る作業比率 合計 100%となるようご記入下さい 播種 移植・定植 栽培管理 収穫 出荷(調整・袋詰め等) 洗浄 その他 合計											
7年7里	%		%	火 枝	山19	(過至 农品 (8)	,			6	100%
■Ⅲ.経営について 1.直近の営業利益の状況 当てはまるもの1つに▼をつけてください											
	」 収支均衡	□ 赤字									
	的に黒字化ま	たは収支均) 衡となる	までに要し	た年数	数 当てはまろ	 ≠₁の I	つに「ダをつ)けてください		
	ら □ I~3 年										
3. 活用している									-		
	連 エネルキ					./= =					□ <i>t</i> >1
)	□ なし
4.生産·経営_							_				
									、 □ AI·スマー		
	『官理 □ ヘチ・ ・技術開発 □		克への配慮	□販路	用拓・宮	3 第 □ 海外	技 闬	□ 質材·肥	料等の確保 □	残准》	(世)
			例:収量安定	ミのための=	二酸化炭	素の施用、栽均	音技術	向上のための	作業工程の標準化	化等	,
5.コスト構造											
<u> </u>	七率 施設全体	の各費用のと	七率を合計	100%と	なるよう	ご記入ください	ハ。電気	気コストの内言	Rについても同様に	ご記ノ	ください
①人件;	·····································	費 ③雷等	 	④種苗·資	各材幣	⑤物流·輸送	掛	⑥水道費	⑦その他		合計
				⊕ 12 E					()	
費用比率 9	0	% 雪気:	% コスト内訳		%	7	6	%		%	100%
照明	% 空調		他(ポンプ	等の機器	類)	% 計 100	%				
② 各費用の前											
① 谷貝用の肌			配をこれ 入電気コスト	(人/こと) ④種苗・資	各材整	⑤物流·輸送	杏	⑥水道費	⑦その他	6	3全体
前年比	%	%	%	⊕ 4± m 3	%	9		%			%
列:前年度と比較	11			前年度と比		·					70
6. 生産コスト埠							(- W L				
							模拡	大 □ 生産	縮小 □ 事業縮	:	
)
□ 行政支援活用 □ 新品種導入 □ 生産性向上 □ ロボット化・省力化 □ 出荷・輸送方法の変更 □ その他() 具体例(自由記述):											
7.主な出荷先		率 当てはま	るもの全て	に⊻をつ	け件数	、比率をご記力	人くだ	さい			
	□市場出荷										
主な出荷先	□ 市場外出	荷≫∶	取引先件数		1		-		.,		
			取引先比率	平 小売		%、業務	用	9	%		
販売額の比率	市場出荷	0/o ±	四約我拉		% 直目	反・EC サイトな	· 1.	%	その他	0/0	計 100%

Ⅳ.スマート化について

I.スマート化のシステム・ツール導入状況 使用中および導入を検討中のもの全てに ▼をつけ、具体名をご記入ください ※1つのシステム・ツールに複数の機能がある場合、具体的な当該サービス・装置名をそれぞれご記入ください

	システム・アプリの目的	使用中	検討中	具体的なサービス・装置またはメーカー名					
	①販売管理(実績管理ツール等)								
経営	②資材管理								
	③その他営農・販売支援(EC・フリマアプリ等)								
栽培	④栽培·作業記録·管理								
栽培	⑤防除記録·管理								
環境制御	⑥環境制御								
自動運転・	⑦移植·定植自動化装置								
作業軽減	⑧収穫·搬送装置								
(ロボット等)	⑨選果·包装装置								
	⑩画像センシング(生育判定等)								
センシン グ・モニ	①環境モニタリング(温湿度計測・記録システム等)								
タリング	⑫作業モニタリング(IC タグの活用等)								
	③センシング・モニタリングその他								
その他	⑭その他※例:AI を活用したその他システム等								
2.スマート	化のシステム・ツール導入後の効果 当てはまるも	もの全てに	ヹ をつけ⁻	てください					
□ 収量向	上 □ 省力化 □ 品質向上·均一化 □ 収益性向	上 🗆 労	務管理の通	箇正化 □ その他()					
3.スマート化のシステム·ツール導入·活用における課題 当てはまるもの全てに< <p>✓をつけてください</p>									
□ 使用方法が難しい □ コスト □ 効果がわかりにくい □ 他システムとの連動性 □ その他()									
Ⅴ.新型:	コロナウイルス感染症の影響 当てはまるもの全て	に坐をつ	け、そのほか	かご自由にご記入ください					
※コロナ禍:	およびウィズコロナによる日々の栽培・経営への影響、その対	対策や工夫	スマート化	が役立った場面等ありましたら、ご自由にお答えください					
□ 人手不	□ 人手不足 □ 販売先・売上げ減少 □ 販売先・売上げ増加 □ 資金不足 □ 調達・流通関連 □ その他 □ 影響なし								
VI.施設	園芸に係る国の支援措置に対する要望 当ては	はまるもの全	こてに 🗹 を	つけ、そのほかご自由にご記入ください					
□ エネルギー高騰対策 □ CO 排出削減対策 (例:施設・システム導入費の支援、技術開発の先導など) □ 異常気象対策 □ 技術開発のための研究支援 □ 人材確保支援 □ 研修・教育機会の提供・充実化 □ AI・スマート化への支援 (例:無料アプリの提供や教育人材の派遣など) □ 海外展開時のフォロー									
	農地としての取扱い等 □ その他 (の支援措置に対して要望など(自由記述)例:SDGs 対 n	応事業者へ	の優遇、国主	上導での技術・システム開発等					
自由記入	欄 設問・調査票、その他ご意見等ございましたらこ	ご自由にお	書きください	·\					

令和 6 年度みどりの食料システム戦略実現技術開発・実証事業のうち スマート農業の総合推進対策のうち データ駆動型農業の実践・展開支援事業のうち スマートグリーンハウス展開推進

> 事業報告書 (別冊1) 全国実態調査·事例調査 令和7年3月

一般社団法人日本施設園芸協会 東京都中央区東日本橋 3-6-17 山ービル Tel 03-3667-1631